

三心を磨く

学校だより NO. 28
平成30年 9月6日(木)発行
須坂市立東中学校
文責：金井 勝久(教頭)
<http://www.azuma-school.ed.jp/>

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果より

4月17日(火)に、全国の中学3年生・小学6年生が行いました「全国学力・学習状況調査」の結果が7月末に公表されました。今後の教育活動に役立てるため、本校の結果を分析いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

尚、この調査により測定できるのは学力の特定の一部であり総合的な学力を示すものではありません。

1 調査の概要

(1) 調査対象 中学校 第3学年

(本校の調査実施人数：65人)

(2) 調査内容

①教科に関する調査

- ・主として「知識」に関する問題(国語A、数学A)
- ・主として「活用」に関する問題(国語B、数学B)
- ・理科

②質問紙調査

- ・生徒に関する調査
- ・学校に関する調査



2 調査結果の概要

【凡例】 ・上回る…+3.0以上 ・やや上回る…+1.0以上～+3.0未満
・下回る…-3.0以上 ・やや下回る…-1.0以上～-3.0未満 ・同程度…0.0～±1.0未満

(1) 教科に関する調査結果の概要

	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
全国との比較	同程度	同程度	やや上回る	やや下回る	やや下回る
長野県との比較	やや上回る	やや上回る	上回る	同程度	同程度

【考察】

国語A、B、数学Aでは、全国平均、県平均を上回り、特に数学Aでは、大きく県平均を上回ることができました。数学Bについては、一昨年度、昨年度と、大きく全国平均、県平均を下回りましたが、あと少しで県平均を上回ることまでできています。

これは一昨年度からの取り組みであるICTを活用した協同的な学びによる授業改善、家庭学習の充実、テストサイクルを見直しできるようにしてテストへの転換、日課の変更による家庭学習の日・補習の日の設定、夏休み中に5日、春休み中に4日の補習授業、TT指導の充実(数学は毎時間、英語は1/2時間)等の取組の成果と思われます。今後も本年度の結果に満足することなく、生徒一人一人の学力向上に向けた取組を充実させてまいります。

(2) 生徒質問調査の結果(長野県教育振興基本計画の指標項目) (%)

質問項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度
① 学校の授業がよくわかる(数学)	70.2	91.4	83.1

② 自分の将来の夢や希望をもっている	66.3	79.3	73.9
③ 今住んでいる地域の行事に参加している	60.5	62.1	58.5
④ 自分にはよいところがあると思う	63.7	84.5	90.8
⑤ 人の役に立つ人間になりたいと思う	94.8	94.9	92.3
⑥ 毎日、朝食を食べて登校している	94.8	96.6	89.2

【 考 察 】

①の「授業がよくわかる」と答えた生徒の割合が減少しました。ただし全国平均は71.0%、県平均は73.8%であることから、全国、県の平均を10ポイント以上上回っています。これは一昨年度から始めた「ICTを活用した協同的な学び」において、友と話し合ったり教え合ったりして学習を進めることにより理解が進んできている生徒と、基礎学力の不足から理解が進んでいない生徒が、平成29年度に比べ多いためと思われます。国語、数学ともにA問題の「知識・技能」を見る問題の平均点は向上していますが、二極分化が進んでいることの表れと思われます。TT指導を充実させ、生徒一人一人へのきめ細かな支援を充実させてまいります。

②④の割合からは、平成28年度に比べて、生徒たちの「自己肯定感の高まり」が感じられます。生徒のよさを認め、励ます支援をこれからも継続し、更に自分自身に自信がもてる生徒の育成をめざしてまいります。

⑥より、毎日朝食を食べる生徒の割合が、平成28年度、29年度に比べて減少しました。朝食は1日の活力となり、健康のバロメーターでもあります。夜遅くまでゲーム等をしていて朝起きられずに朝食を食べられない、家庭での生活リズムが合わずに朝食が食べられない等の理由はあるかとは思いますが、須崎市では食育に力を入れておりますので、栄養バランスの取れた朝食が取れるように、ご家庭でもお願いいたします。

(3) 生徒質問調査の結果(抜粋)

(%)

質問項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度
① 家で、宿題をしている	79.2	93.1	86.1
② 家で、学校の授業の復習をしている	35.6	36.2	47.7
③ 家で、自分で計画を立てて勉強している	31.2	46.6	49.3
④ 先生はあなたのよいところを認めてくれる	84.5	84.5	83.0

【 考 察 】

①「家で、宿題をしている」と答えた生徒の割合は、昨年よりは減少しましたが、8割を超える生徒が毎日宿題をしていると回答しています。多くの生徒に、「宿題はしっかり家でやらなければならない」という学習習慣が身につけてきたように思われます。「まずは宿題にしっかり取り組む」が基本ですので、全員の生徒が宿題をきちんとできるように指導してまいります。

宿題以外について見ていきますと、②③に示されているように、「復習」や「自主学習」についての取組は、平成28年度、29年度に比べると改善されてきました。宿題同様、家庭学習に対する意識が高まってきているためと思われます。特に自主学習につきまちは、「自主学習ノート」を専用に用意し、内容も「克服、追究、発展」というように、自分が目的をもって取組めるようにした成果が出てきていると思われます。しかし、自分で計画を立てて学習に取り組んでいる生徒は半数ですので、これからの受験勉強に向けて計画的に学習できるように指導してまいりますので、ご家庭でも「学習時間の確保」「規律ある生活」についてご指導ください。学力の向上には、家庭学習の充実が不可欠です。引き続きご家庭でもご指導お願いいたします。